



天目

父母恩重經

「父母の恩重きこと天の極まり無きが如し」

世界中には、一生かけても読み切れないほどたくさんのお経があります。臨済宗でよく読まれているお経、皆さんも聞き慣れてはいても、何語かわからない、何を言っているのかわからない、意味もわからないと感じるお経が多くないですか？これは陀羅尼（だらに）と言って、意味を伝える為のお経ではなく、音そのものに力がある念仏や真言の様なお経だからです。もちろん日本語に訳して意味を理解しながら読むのもいいですが、読んだ時の音に力がある訳ですから、日本語にしまっただけはその力をいただけなのです。しかし、ちゃんと分かりやすい日本語で書かれ、内容を伝える為のお経もたくさんあります。父母恩重經もその中の一つです。

「父在らざれば生りがたし、母在らざれば育たれず。」

ところが、ニュースを見れば親が子を殴り、子が親を殺すといった凄惨な事件ばかりです。自分が生きているのは周りのみんなのおかげ、特に生んでくれた両親のおかげです。人間に生まれてよかった、生んでくれてありがとうと感謝をしなくてははいけません。動物でも3日飼えば受けた恩を感じますよ。

また今年も父の日、母の日が近づいてきました。もう一度両親へ感謝の気持ちを向けてみてはいかがですか？「もう両親が亡くなってしまったから親孝行できない」と言い訳されている方、お墓参りや年忌法要で感謝の気持ちを向けるのは立派な親孝行です。レッツゴーお墓参り。

栖雲寺 青柳 真元

知っていますか？

「焼香の回数」のこと

葬儀や法事で焼香を何回しますか？1回？3回？よく分からないので前の人と同じだけ？正解は・・・全部正解です。

ただし、意味も知らずに、また信念も無しにその時の様子で回数を決めていようではないけません。また斎場等で参列者が多いから1回などと、こちらの都合で仏様を疎かにする様な理由が一番良くないです。

各宗派によっても回数は違うので、他宗派の法要での焼香は周囲の人を参考にするのもよいでしょう。また、地域や家族のしきたりもあるのでここに書くことが絶対ではありませんが、臨済宗では基本1回です。3回するのは、三世の諸仏（現在、過去、未来の仏様）に、または三宝（仏、法、僧）に焼香する、他にも様々な理由があつての事、葬儀や年回法要など焼香する対象が一霊位の時は1回でいいのです。それを知って3回するのは結構なことですし、大切なのは心を込めて焼香することです。

仏壇やお墓に立てるお線香の本数も同じです。1回は何本も立てても、喜ぶのは線香屋さんだけかも。



観音募金

お布施やお賽銭の一部を建長寺の観音募金に寄付いたしました。

昨年度は日本各地で台風被害、海外ではハイチの大地震やチリの津波など大災害が続きました。また世界の発展途上国では今日を生き抜くのが厳しい子供たちもたくさんいます。経済発展を遂げた日本に住む私たちは、これらの国に援助をしていかになくてはいけません。自分や自分の家族だけが幸せならいい、お金持ちならいい、と言うのは本当の幸せではありません。世界中のみんなが平等に幸せになれるように、これが仏教の精神です。



栖雲寺の版木

栖雲寺には江戸時代に実際に使われていた版木がたくさんあります。開山様のお姿やお寺の縁起など、その数三十点。



ただいま鎌倉で版画を勉強中です。意外と難しくきれいに刷れるようになるにはまだ時間がかかります。間が掛かりそうです。上達した暁にはお札やお守りとして檀信徒の皆様のお手元にもお分けさせていただきます。

あとがき

早いもので、栖雲寺の住職になって一年が経ちました。鎌倉から通いの住職ですので、留守も多く、檀信徒の皆様には住職らしい布教もほとんどできず申し訳なく思っております。二年目の今年はより一層精進してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。